

位置図



川の状況

- 横瀬川の延長21.01km
(うち町内改修済み延長0.2km)
- 活動団体 4団体
(うち川の国広援団の登録 4団体)
- 川の特徴
 - ・道の駅付近の横瀬川は観光スポットとなっています。
 - ・道の駅に隣接する芦ヶ久保橋下の横瀬川河川敷ではバーベキュー場が整備されています。
- 過去の事業
 - ・水辺再生100プラン
事業延長:L=200m
事業内容 散策通路、飛石 等

まちの状況

- 地域資源
 - ・武甲山など町の四方は丘陵山岳で囲まれ、奥武蔵高原の緑と横瀬川の清流によって自然の三要素である、山、水、緑がバランスよく揃っています。
 - ・観光資源としては、大自然での登山・ハイキングをはじめ、花や緑で彩るオープンガーデン、味覚狩りが楽しめる観光農園、県内最大級の寺坂棚田や厳冬期にオープンする氷の芸術「あしがくぼの氷柱」などがあり、年間を通じて、県内や都内から観光客が訪れます。
- 課題
 - ・今後、横瀬町では、芦ヶ久保地域を訪れた観光客にとって、「何度も訪れたいくなる場所へ」となるよう、「身近な観光地」として、イメージを定着させるとともに、併せて秩父地域内への観光地の周遊を図る必要があります。
 - ・町の人口は8,568人、高齢化率は30.5%、年少人口割合(0-15歳)12.5%となっており少子高齢化や人口減少が進行していることから、定住促進に加えて、交流・観光といったもうひとつの“ひと”の流れについても、拡大・活性化を図る必要があります。

市町村が取り組む事業等の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図



事業等の概要

ハード

- 案内板・標識等の整備
 - ・新たな水辺の利便性や周遊性を向上させる案内板や標識等の整備

ソフト

- 情報発信
 - ・観光パンフレット等の作成
 - ・Facebook、LINE等の活用
 - ・水質改善(合併浄化槽へ転換促進等)
 - ・広報紙やイベントでの啓発活動
- 観光PRの充実
 - ・イベントの開催(溪流魚つかみ取り、ハイキング)

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
案内版・標識等の整備			●	●	●	200万円
情報発信の充実			●	●	●	50万円
観光PRの充実			●	●	●	50万円

県に実施してほしい整備の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図



実施してほしい整備概要

■遊歩道の整備

- ・石張(BBQ場へのアプローチ) W=3.5m L=100m

■景観の整備

- ・河川敷の整地及び雑木の伐採 一式
- ・巨石の設置(上下流に存在する巨石を移設) 一式

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
計画策定	●——●					—
遊歩道の整備		●——●				1200万円
景観の整備		●——●				300万円